

3/25
2016年第1230号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
大発行人 志岐 敬
大阪府浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

山下芳生参院議員(共産)が協会調査示し国会質問



協会の調査を示し、医療費助成の拡充を訴える山下芳生議員(左)10日、参院内閣委員会(インターネット審議中継から)

口腔崩壊の子どもも救え

参院内閣委員会が10日に開かれ、山下芳生議員(共産)が協会の「学校歯科治療調査」を示し、加藤勝信内閣府特命担当相(一億総活躍担当相)に子どもの口腔崩壊の解決を迫った。同調査は2月に協会が大阪府内の全公立小・中・高に実施したもので、内閣委員会で取り上げられたのは初めて。山下議員は口腔崩壊の実態を示し、子どもの医療費無料化を国の制度として実施するよう求めた。

山下議員は、子どもの口腔崩壊の写真を突き付け、学校歯科治療調査を紹介。「受診しなければならぬのに受診できていない子どもが小学校で5割に上る。中学・高校でもっと多い」と指摘し、政府に対応を求めた。

加藤担当相は、口腔内の健康が「子どもの健全な育成に大変重要」

「必要な対応を考えていきたい」と述べたものの、具体策には言及しなかった。山下議員は、「口腔崩壊の子どもの多くが経済的に困難な状況に置かれ、ネグレクトや生活習慣などの問題を抱えている」と強調。その上で、協会

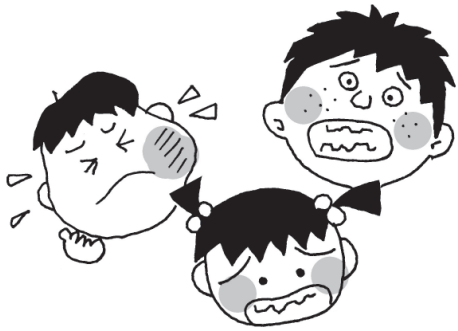
の「窓口負担の軽減は子どもたちの健康の大前提になる」とのコ멘トを紹介し、医療費助成制度の無料化を国の制度として実施するよう求めた。

加藤担当相が「厚労省の議論も見極めながら対応したい」と弁明したことから、同議員は「厚労省の試算では、就学前までの子どもの医療費を無料化した場合の予算は2

医療費の無料化 求める声相次ぐ

協会が実施した2015年学校歯科治療調査(中間報告)では、学校歯科検診を受け、要受診と診断された子どものうち、実際に受診したのは小学校50.0%、中学校31.0%、高校13.0%だった。調査は4年連続で、今回初めて高校生にも対象を広げて実施した。年齢が上がるにつれて受診率は下がる傾向にあることが明らかになった。

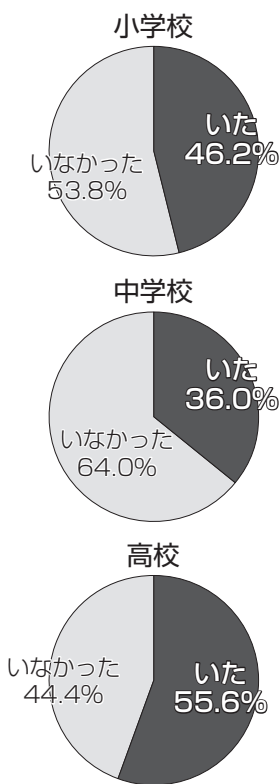
「いた」との回答は、小学校46.2%、中学校36.0%、高校55.6%に上った(グラフ)。「6年生で永久歯12本がむし歯」「歯がないと一目で分かる児童がいる(小学)」「う歯が18本(中学)」「う歯が10本以上ある生徒が25人(高校)」という現状が浮き彫りになった。多くの学校から「治療費を何とかしてほしい」との声が寄せられており、医療費助成拡充と共に関心が高まっている。利用者が補っている。利用者への手厚いサービスは家族への経済的負担との微妙なバランスで辛うじて維持できる苦境にある。高齢者の認知症は日々悪化し、家族の生活を蝕んでいく。



学校歯科治療調査に寄せられた口腔崩壊の主な事例

- 【小学校】**
 - 3年生女子で乳歯8本、永久歯3本がむし歯。授業中、歯が痛くて勉強できなかった
 - 「歯がない」と一目で分かる児童が2人入学。給食では食べ物を口の中で行ったり来たりさせているだけ
- 【中学校】**
 - 健康な歯は4本だけで残りの歯はすべてむし歯。兄弟で口腔崩壊状態
- 【高校】**
 - う歯が10本以上ある生徒が25人いた

口腔崩壊の子ども有無



安倍首相は第189回国会における施政方針演説(2015年2月12日)

で、「経済のグローバル化は一層進み、国際競争に打ち勝つことができないければ、企業は生き残ることができない。政府もまた然り。オープンな世界を見据えた改革から逃れることはできません」と述べた。グローバル競

争に打ち勝つことが国家目標とされる中で、「社会保障と税の一体改革」という名の社会保障費の適正化・効率化、すなわち削減は避けては通れない課題とされ、「手を差し伸べるべき者」と「差し伸べ

るべきではない者」の仕分けが自論されている。マイナンバーを使って集約される個人情報、こつた仕分けに活用さ

れることになるだろう。そして、マイナンバーの利用分野が広がれば広がるほど、仕分けはより精

確になるのだ。では、自己責任や非効率、給付過多などとして「手を差し伸べるべきではない」と見なされれば、民間利用が本格化し、

医療や健康などに係わる個人情報やビジネスに利用できるようなれば、医療や介護などのより一入の是非を考える際には、国民はどれだけ便利になるのか、行政の合理化にはどうなるのか、といった面だけではなく、それが政策として出されてきた経緯や背景を見ることが必要であろう。そして、それが社会保障に何をもちたそうとしているのか、また、そもそも社会保障とは何かにまで立ち返って検討する必要があるのである。 (おわり)

基軸

自治体情報政策研究所代表 黒田充

社会保障から考える「マイナンバー」制度 ⑦

余命短縮もたらす懸念 仕分けで社会保障から排除も

れ、余命の短縮という形で死がもたらされることになる。同時に、マイナンバーの民間利用が本格化し、

層の市場化——要するに「命の沙汰も金次第」に大いに貢献することになる。 (おわり)

お知らせ 労働保険「年度更新」

協会の労働保険事務組合に委託されている先生には、3月下旬～4月上旬に労働保険料の「年度更新」書類(年間の支払い賃金報告)をお届けします。保険料の算定のために必要な書類ですので、期日までにご提出ください。なお、概算保険料第1期の引き落としは6月となります。お問い合わせは共済部(TEL06-6568-7438)まで。

歯界

百年前、ユダヤ系ドイツ人のカフカが『変身』という奇妙な小説を刊行して話題になった。後に「実存主義文学」の先駆者となつたと評された。家族のために懸命に働いていた主人公が、ある日突然、醜い虫に変身するという

お知らせ
協会の社保担当事務局は、4月中旬まで改定書籍『歯科保険診療の研究』の製作業務で事務所を離れます。お問い合わせは、出先から折り返しの対応となります。